

昔のコマツナの狭い株間の検討

森 研史・山岸 明

(江戸川分場)

【要 約】昔のコマツナの単位面積当たりの収量を増加させる播種密度は、条間 14 cm，株間 4 cm に対して，3 割り増しの相当の条間 14 cm，株間 3 cm 以上は生育不良が多い。播種密度 2 割増を目標値とする。

【目 的】昔のコマツナは食感は優れるが，生産性が低い。固定種とコマツナ同士の交配種は食味と栽培特性のレベルが異なるので，この二つを別のグループとし，二段階とする。単位面積当たりの収量を増加させる播種密度の資料とする。

【方 法】

「ごせき晩生，かつしか」を供試し，パイプハウスに 1 回目は，条間 14 cm，株間 5，4，3，2 cm。また，条間 8 cm，株間 5，4，3 cm。2007 年 1 月 15 日播種，施肥は 10a あたり 3 要素成分量で 10kg，収穫調査は 2 月 26 日，3 月 2 日。

2 回目は 2 株立ちを組み合わせて，1 株立ちは，条間 14 cm，株間 4，3 cm。条間 8 cm，株間 4，3 cm。また，2 株立ちは，条間 14 cm，株間 8，6 cm，条間 8 cm，株間 8，6 cm。2007 年 4 月 1 日播種，施肥は 10a あたり 3 要素成分量で 10kg，収穫調査は 5 月 7 日。5 月 9 日結束後，重量減少を考慮した上，全株，束をばらして調査する。

【成果の概要】

- 1) 1 回目：1 月 15 日播種，2 月 26 日収穫では，条間 14 cm で株間 3 cm の場合，十分な株重を得られない。3 月 2 日には，条間 14 cm で株重は増加した。例えば，条間 14 cm，株間 3 cm で，株重 23.4 g (図 1)。
- 2) 3 月 2 日には，例えば，条間 14 cm，株間 3 cm で葉枚数 6.4 枚 (図 2)。
- 3) 3 月 2 日には，例えば，条間 14 cm，株間 3 cm で，最大葉長 31.0 cm と，株重の増加に伴って葉長が伸長し，出荷規格の 30 cm を超え始める (図 3)。
- 4) 3 月 2 日には，条間 14 cm，株間 3 cm，さらに狭い条間 8 cm，株間 3 cm では，葉がよれて草姿が曲がり，子葉と第一葉に黄化や老化が見られるため，出荷に耐える条間，株間は，条間 14 cm，株間 5 cm，条間 14 cm，株間 4 cm，条間 8 cm，株間 5 cm が限度に近いと考えられる (表 1)。
- 5) 2 回目：4 月 1 日播種，5 月 7 日収穫では，品種によりあるいは，畝間と株間により束内の株重別構成比が，2 株立ちの方がやや重い株の比が増加する傾向である。
- 6) 2 回目：4 月 1 日播種，5 月 7 日収穫では，品種によりあるいは，畝間と株間により束内の株重別構成比が，2 株立ちの方がやや重い株の比が増加する傾向である。
- 7) 「ごせき晩生」の条間 14 cm，株間 4 cm を標準と仮定すると，条間 14 cm，株間 3 以上は生育不良が発生するなど無理が多く，これは標準の播種密度 3 割り増し相当である。

以上より，「ごせき晩生」の条間 14 cm，株間 4 cm を標準とし，播種密度 2 割増を目標値とする。

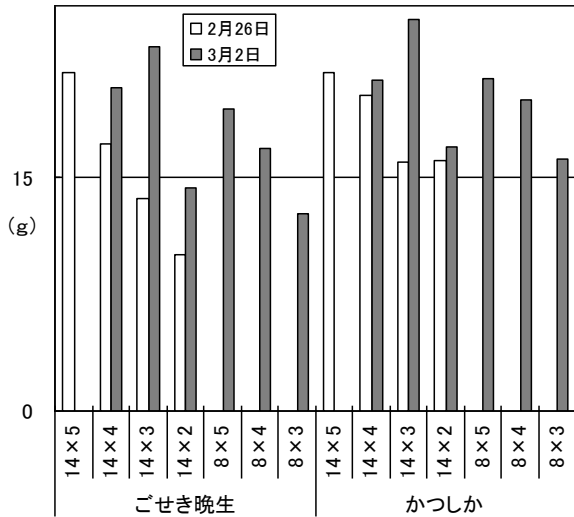


図1 播種方法がコマツナ株重に及ぼす影響

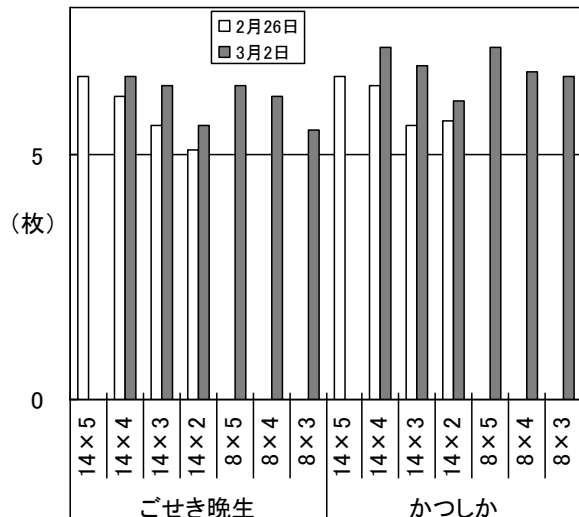


図2 播種方法がコマツナ葉枚数に及ぼす影響

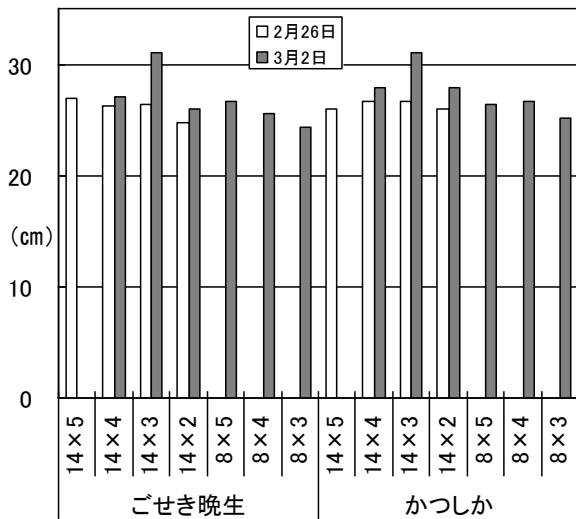


図3 播種方法がコマツナ最大葉長に及ぼす影響

	2月26日	3月2日
14×5		
か 14×4		
つ 14×3	葉よれ	葉よれ悪化, カッビ [®] ツク [®]
し 14×2	強い葉よれ	
か 8×5	カッビ [®] ツク [®]	
8×4	カッビ [®] ツク [®]	
8×3	葉よれ	
14×5		カッピング, 白さび病
ご 14×4	カッビ [®] ツク [®]	葉よれ
せ 14×3	カッビ [®] ツク [®]	カッビ [®] ツク [®] 悪化
き 14×2	葉よれ	カッビ [®] ツク [®]
晩 8×5	やや強いカッビ [®] ツク [®]	
生 8×4	やや強いカッビ [®] ツク [®]	
8×3	強いカッビ [®] ツク [®] , 葉よれ	

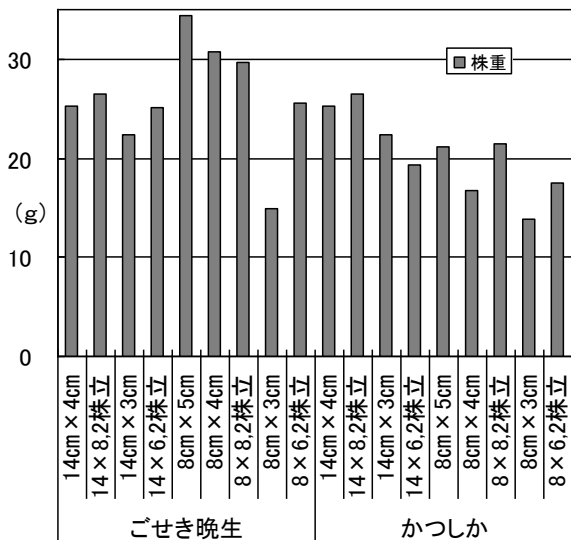


図4 5月7日収穫 播種方法がコマツナ株重に及ぼす影響

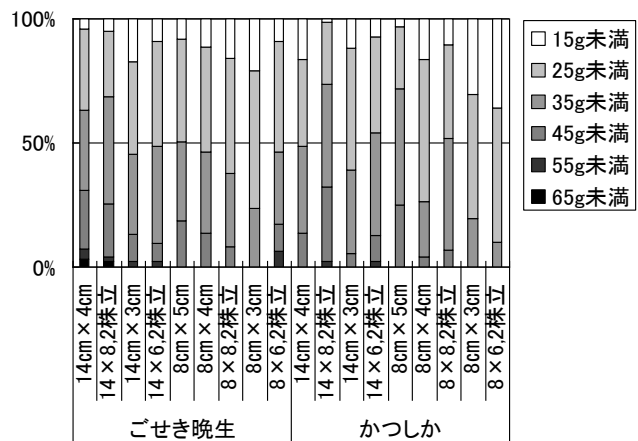


図5 5月9日結束 播種方法が東内コマツナ株重構成比に及ぼす影響